



# 新潟大学の学生が飯豊山系砂防管内を見学

9月29日、新潟大学農学部が、荒川の支川である鍬江沢川流域での現地見学を実施しました。昨年8月の大雨の際土石流を捕捉した下土沢砂防堰堤や、流木対策を含めた改築工事を進めている西山川砂防堰堤など、砂防施設の効果やこれからの砂防に関する取り組みを見ていただきました。

下土沢砂防堰堤



被災直後



昨年8月の大雨後、下土沢砂防堰堤での現地見学は今回で3回目となります。堆積した土砂・流木の撤去はほぼ完了しました。

西山川砂防堰堤



西山川砂防堰堤では鋼製スリット化の施工を進めています。施工方法やなぜ改築が必要なのか等、質問がありました。



そのほか、昨年8月の大雨で土石流を捕捉した堰堤や、昭和42年に発生した羽越水害との違いについて、実際に現地で体験していただきました。